

平成28年度 「自己評価」及び「学校関係者評価」報告書 若葉幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

子どもたちは、無限の未知なる可能性を秘めており、その可能性は幼児期の過ごし方で大きく左右される。本園は「生きる力」の基礎を育むことを大目標としている。生きる力の根源はやる気である。四季折々の子どもたちの体験活動を重視し、感動体験から湧き出るやる気（意欲）を発露させる保育を進める。

2. 平成28年度の重点

- ・ いきいきと活動し心豊かな子どもを育てる。
- ★ 考える子ども…………… 工夫し創り出して遊ぶ
- ★ 元気な子ども…………… 身体を存分に使って遊ぶ
- ★ 感じる子ども …………… 自然に親しんで遊ぶ
- ★ 仲よくする子ども…………… 思いやりをもってきまりを守って遊ぶ

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1) 園の教育理念 教育方針	4. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の教育理念・教育方針を全教職員で共通理解することに努め、保護者への啓発と共に全教職員で全園児を育むという意識を深めることができた。 ・ 「幼児教育を通して社会に奉仕する」という建学の精神をもって園経営を進めた。
(2) 教育課程・指導	4. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全教職員で子どもの実態把握と指導計画の見直しに努め、子どものニーズに応じた保育が展開できるように取り組んだ。 ・ 子どもひとり一人が自分らしさを発揮できるよう、個のよさを伸ばすことと、子どもの主体的な活動の尊重に重点を据えた指導に努めた。 ・ 園外保育や四季折々のそれぞれの行事のねらいを常に明確にし、それぞれの活動を通して、新たな意欲の発露となるような指導に努めた。
(3) 保健管理	4. 0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一年を通じて手洗い・うがいの励行を図るとともに、健康の大切さを子どもが理解しやすいような指導に努めた。 ・ 保健関係の管理については、専門機関の指導や研修を受けながら、園と家庭が連携を深められるよう取り組んだ。 ・ 伝染性の疾病の流行抑制対策に力を注いだ。
(4) 安全管理	4. 0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理マニュアルを見直し、活用に向けた取り組みに努めた。 ・ 子どもの安全意識の高揚と教職員一人ひとりのこどもを守る意識の高揚のために、避難訓練や防犯訓練を定期的実施した。 ・ 園内の遊具や施設の定期的な安全点検を実施し、安全の確保に努めた。また、防犯カメラ・インターホン対応等、外部侵入者対策を継続した。
5) 特別支援教育	4. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援の必要な子どもだけでなく、一人ひとりの子どもの育ちを見据えた援助について、職員全員で共通理解に努めた。また、職員間で密に子どもの実態に応じた援助について情報共有し意見を交換することが、多角的に子どもの姿を捉え、子どもの育ちにつなげることができた。 ・ 個々の子どもの理解が進むよう、保護者にも必要な情報提供を行い、連携・協力を図ることに努めた。また、箕面市教委発達相談との連携も密にした。 ・ 小学校への進級に関して、箕面市教育委員会・家庭との連携を密にしながらい必要配慮児童に対応することができた。

(6) 組織運営	5.0	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員で全園児を育てるという意識を浸透させ、一人一人の子どもに応じた指導・支援・対応ができるように努めた。 各学年の主任を中心として、学年内での打ち合わせ、隣接学年との協議の充実に努めた。また、園務分掌が適切に機能し、円滑な幼稚園運営が展開できた。
(7) 研修	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り外部研修に参加し、その成果を全体の場で伝達し、園内では日々研修という意識で、学年を越え相互に指導技術を高め合うことができた。 英語・体育・絵画・リズム・マーチング・ピアノについて、外部講師による実技研修を定期的実施し、指導に役立てることができた。
(8) 情報提供	4.5	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の「わかばだより」、毎週の「わかばっこ」を発行することで、園の方針や取り組み内容について保護者に積極的に情報を提供することができた。また、携帯メール・ホームページを通して、園内の情報をこまめに、保護者に提供することに努めた。
(9) PTAとの連携	5.0	<ul style="list-style-type: none"> PTA本来のあり方を追求しながら、充実したPTA活動が展開できるよう園と役員・委員の連携を深めることに努めた。また会員全員が参加・協力できるPTA活動を目指した。 夕涼み会・発表会・運動会・もちつき大会等の中心行事だけでなく年間を通じて子どもたちのためのPTA活動が展開できた。
(10) 子育て支援	4.5	<ul style="list-style-type: none"> 満2歳児を対象にした、週2回の特別保育を年間計画のもとに実施。2コースとも常に定員一杯の状態を実施できた。 未就園児を対象に、月1回園を開放して種々の遊びを促したり、子育ての情報を提供したりした。
(11) 預かり保育	4.5	<ul style="list-style-type: none"> 平日の預かり保育は可能な限り実施し、保護者の要望に応えられるよう努めた。 長期休業中の預かり保育の指導者数を増やし、活動の中身を吟味し、子どもがより楽しく参加できるように心掛けた。
(12) 教育環境整備	4.5	<ul style="list-style-type: none"> 子ども用トイレの全面改修工事を完了し、明るく清潔感のある空間を作り出すことができた。 遊戯室や保育室の照明を逐次LED照明に変換する等施設設備の整備を心掛けた。 菜園や園庭の花壇を整備し、四季折々の草花が楽しめるよう努めた。また、野菜の収穫の喜びを園児に味わわせることができた。

★自己評価 (5:十分に達成 4:達成 3:おおむね達成 2:要努力 1:要一層努力)

4. 総合的な評価結果

- 「考える子」・「元気な子」・「感じる子」・「仲よくする子」を育むことを、園生活の全般に渡って意識し追究することにより、今まで以上にいきと活動する子どもの姿が増えた。本園のねらう子どもの「意欲とやる気」の発露につながった。
- 「自分の思いを出せるこども」については、一人ひとりのこどもの思いを教員が真剣に受け止め、子どもの思いをみんなの前で出せるように努め、少しずつ向上してきたと捉えているが、保護者の受け止め方はまだまだ厳しい。今後さらに真摯な取り組みを継続していく必要がある。
- 子どもがゆとりをもって楽しい園内生活が遅れるようにするため、それぞれの行事について再吟味し、スリム

化

を図ったが、長年の積み重ねとの兼ね合いでまだ十分な精選に至っていない。

- 遊戯室のLED化、トイレの全面改修・菜園・花壇の改修等に力を注ぎ、子どもが気持ちよく、快適に活動できる環境づくりに全教職員で努めることができた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み 方 法
教育課程・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい幼稚園教育要領の内容について研修を深め、教育課程及び指導計画を見直し保育に生かしていく。また、それぞれの行事のねらい及び進め方を再吟味し、常に子どもの実態に応じたものが設定できるよう配慮していく。また、異年齢活動についても、全体計画を見直しさらに充実を図っていく。 ・ ひとり一人の子どもが自分の思いを出しやすいようにするため、園内での研修を深める必要があるが、特に実際の研究保育を通して追究していく。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ あらゆる自然災害を想定した防災計画を確立するとともに、外部からの侵入者に対する防犯対策を強化する。関係各位との連携を強化する。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園に関する様々な情報の提供・幼稚園公開の実施・園だよりやP T A情報などについてさらに充実していく。HPの積極的な活用を図っていく。

6. 学校関係者評価委員会の評価

全 体 の ま と め
<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児数の安定が順調な園経営につながっていると思われる。園児に対する先生方の対応や言葉かけが素晴らしく、子どもたちひとり一人が生き生きと輝いている。 ・ 四季折々の行事の中で、種々の体験を通して心豊かな子どもを育むことができているが、「当たり前のことが当たり前のようにできる子ども」を育てる意識が浸透されていることも素晴らしく、継続していつて欲しい。 ・ 全教職員で全園児を育てていくという理念をさらに浸透させ、地域・保護者からの信頼をより厚いものにしていつて欲しい。 ・ 3大行事のスリム化に取り組まれているが、年間を通してそれぞれの行事が関連するような教育課程・指導計画を再編成することにより、新たな方向への展開が望まれる。 ・ 保護者アンケートや幼稚園の自己評価を通して、子どもの育つ過程や円滑な幼稚園運営が進められていることが伺えるが、現状にとどまることなく、常に改善に取り組む姿勢で、質の良い環境提供が望まれる。 ・ 子どもが小学校入学に際して、滑らかな連続となるよう今の保育を続けて欲しい。